

かけはし



● 第34号 ●

男女共同参画社会とは



- 安心して子育てができる社会
- 互いに個性を尊重しあい一人ひとりが輝いて生きる社会
- 国際理解と平和への取組を進め、誰もが暮らしやすい社会

笑顔を見て、笑顔を見せて

今号は男女共同参画社会実現に向けて

1. ふるさとを好きになろう！
～彦根の未来を担う子どもたちへ～
2. みんなでなかよくともに生きる
3. 国際結婚を祝福・応援しましょう！

【編集・発行】

彦根市男女共同参画センター「ウィズ」

〒522-0041 彦根市平田町670

TEL/FAX 0749-24-3529

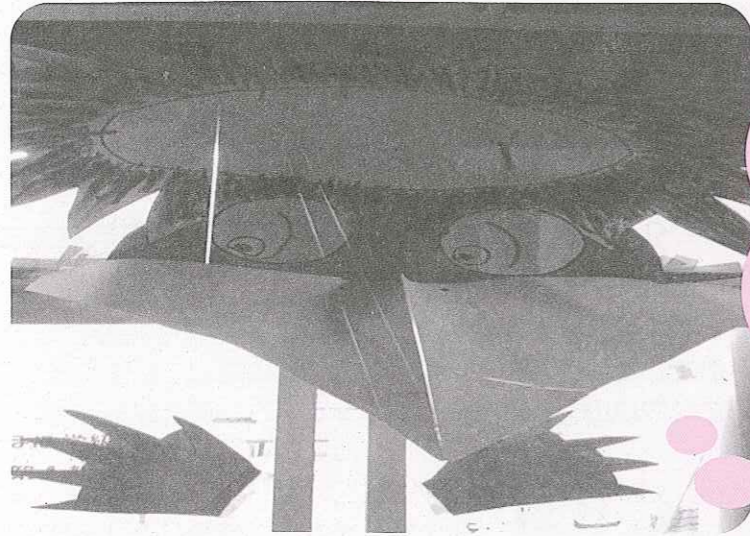
E-mail with.hikone@oboe.ocn.ne.jp

【編集委員】 笹山達矢、川並正幸、湯紹玲

2015年2月15日発行

地域の妖怪と触れ合う夏休み

夏休みの児童クラブには妖怪たちがやってきます。各児童クラブに関わる人によって、やってくる妖怪や内容も変わります。実際に外に出かけ妖怪を探したり、地域の方々に聞き込み調査をしたりします。子どもたちも興味津々!!



子どもたちと
一緒に作った河童ドア

芥川の河童は赤いと地域の
高齢の方々からお聞きし
ました

時折、大人でさえ「もしかしら本当に妖怪がいるのでは」と思うような出来事があります。金城小学校では毎年河童の「かわたろう」と「すいこ様」から手紙が届きますが、そこで不思議な事件が起きました。ある子どもの持ってきていたお弁当のきゅうりにかじられたあとがあったり、天井に濡れた藻がついていたり……。この謎は未だに解明されていません。妖怪は地域の特性をあらわした土着のものなので、実際にその地域を歩きまわる等、その地域の方のお話から見えてくるものです。妖怪のことを知ることで自分の生まれ育ったまちに関心と愛着を持つ、というのが妖怪を保育に取り入れている理由のひとつです。

〈注〉すいこ様^{すいこ}…水虎 河童の別称



取材感想

私は幼いころから昆虫が大好きで地域の子どものためのイベントによく参加しました。そのイベントは地域の方々の運営によるもので、私は楽しくいろいろな体験をしました。学年が上がるにつれイベントに参加する側から手伝う側へと変わり、高校生の時、荒神山でのイベントで企画運営を行った頃から自分も子どもたちへ伝えられることを探したいという気持ちが強まりました。今まで参加したイベント、企画したイベントが大盛況で終わり、それは自信となり、ますますふるさとが好きになりました。NPO芥川の在り方は、私が生まれ育ったこの彦根を好きになる、その中で自分を見つめていく、それを体現するものでした。私はNPO芥川で保護者の方々に代わり、子どもたちが楽しく過ごせる、保護者の方々が安心して子どもたちを預けられる場所としての地域づくりに貢献していきたいです。そして子どもたちには地域活動などを通じて、自分の生まれ育ったところは素敵な場所なんだと感じてもらいたいと思っています。



ふるさとを好きになろう!

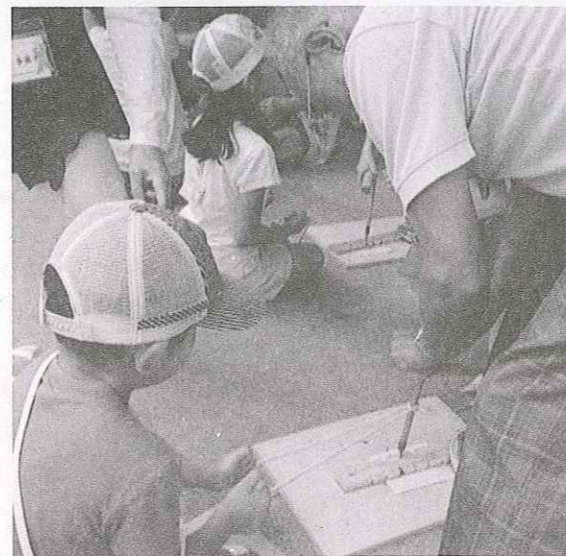
～彦根の未来を担う子どもたちへ～

NPO法人芥川子育て支援部門(以下NPO芥川)は、彦根市から民間委託を受け放課後児童クラブ(学童保育)の運営を行っています。民間委託を受けるきっかけは、「民間でしかできないことをしよう」と志を同じくする人が集まったからです。

NPO芥川の方針の一つとして、地域密着型の子育てがあります。子どもたちにその地域でしかできないことを知ってほしい、ふるさとを好きになってほしい、という思いがあります。それはどんな土地で生まれても先祖から受け継いできたものを感じ、その土地に生まれたことに対して誇りをもつことが、自己形成への最初の土台になると考えているからです。ふるさとを好きになるのには、生まれ育った地域に実際に出かけ地域のことを知ること・積極的に参加することが必要です。ここでは私が所属しているNPO芥川、金城小学校放課後児童クラブで実際に活動していることを紹介します。

子ども教室

子ども教室は、学童保育に来ている子どもや金城・平田小学校に通っている低学年の子どもが、土曜日に地域の方に昔ながらのおもちゃ作りや、遊びなどを教えてもらう教室です。時には火のおこし方や芋掘りなども体験します。



親だけでなく地域の大人たちも一緒になって子どもたちを守る、という思いから活動されている方々です。このような普段体験できない経験を通し、子どもたちには、達成感や貴重な思い出となり、その思いを次世代へと伝えていって欲しいという願いがあります。

みんなでなかよく



私たちのことを知ってください

☆精神疾患のCさん。気分が安定しません。

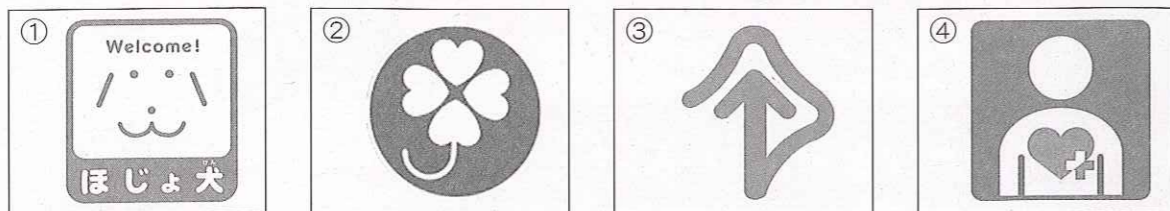
本人も家族もつらい日々を送っています。
家族会は、精神障害を持つ家族の集いです。
そこでは、医療の知識を学んだり、自分の悩みを自由に話せます。
参加者は、気持ちが軽くなり前向きな姿勢になれます。
それが病気の回復の手助けになります。
湖東圏域には、「集まろう会」という家族会があります。
精神疾患についての理解を深めましょう。

みんなで考えてください

多くの人たちが、いろいろな障害がありながら一生懸命に生活しています。しかし、ハンディキャップによる生きづらさも現実です。みなさんの配慮が勇気を与えてくれます。



知っていますか？ 障害者に関するマーク 何を表しているのでしょうか？ ちょっと考えてください



- ① 補助犬マーク：盲導犬・介助犬・聴導犬のことで、身体障害者補助犬同伴の啓発マークです。
- ② 身体障害者標識：肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている方が車に表示します。
- ③ 耳マーク：聞こえが不自由なことを表すマークです。
- ④ ハートプラスマーク：内部障害（心臓、腎臓など）・内臓疾患（難病、内臓機能疾患）のある人。

※このようなマークを付けた人は、それぞれの障害で困っていることがあります。
そのようなマークを見かけたらその人に配慮した声掛けや手助けをお願いします。

ともに生きる



優しさ・思いやりを！ その①

☆身体に障害のあるAさん。駅のエレベーターに乗ろうと待っていると、後から来た人が、「急いでいるから車椅子は後にしてね」と先に乗ってしまいました。

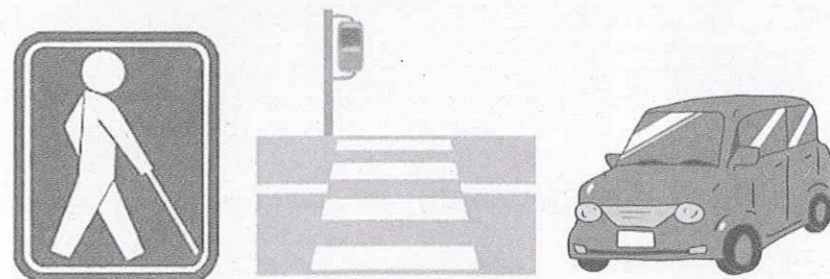
- ◎健常者が、我先にとかき分けていく。たまに見かける光景ですね。
本来エレベーターは、体の不自由な人のためにもあるのではないの？
車椅子の人に順番を譲ることができる思いやりのある社会にしましょう。



優しさ・思いやりを！ その②

☆視聴覚障害者のBさん。最近外出恐怖症に。ハイブリッド車が増えて車が身近に来てても音がしないのでわかりません。白杖を携行していても「危ないな どこ見とるんや」と怒鳴られて気持ちが萎縮してしまいました。

- ◎障害のある人への配慮が必要ではないの？ 誰もが安心して生きていく権利を持っています。



男性と女性、大人と子ども、健常者と障害者。お互いに相手を理解し認めることが自分を理解し認めてもらえることとなります。互いに個性を尊重しあい一人ひとりが輝いて生きる社会を作りましょう。

国と国のかけはし

例2. 彦根市に在住している国際結婚した夫婦の恋物語と結婚生活を紹介します。

夫：中村さん 1977年生（大阪府出身）
妻：巫さん 1987年生（中国湖北省出身）

中国で出会い・デート

2008年に二人は仕事の関係で中国広東省で出会いました。中村さんが素敵な巫さんのことを気に入り、後に二人で山登りをしたことをきっかけに、お付き合いをはじめました。



感動した瞬間

ある日、二人は動物園に行きました。ちょうどお昼で動物たちは寝ているところでした。巫さんが拍手して動物を起こそうとしましたが、中村さんは「静かに、静かに、みんなの昼寝を邪魔しないで」といいました。「動物に対してもこんなにやさしくて、この人はきっといい人だ」と巫さんがとても感動しました。

結婚生活の思いやりと 幸せな笑顔 ☆待望の赤ちゃん、うまれたよ！

2011年秋、二人は彦根市で暮らすようになりました。

ある日の朝、巫さんが近くのスーパーへ仕事に行く途中、にわか雨が降りました。中村さんは彼女が濡れると心配して、自分が出勤する前に慌てて傘、服、靴下などを彼女の仕事先まで持って行きました。巫さんは、とても幸せな気分になり自分がこの人と結婚してよかったと思いました。

巫さんには昨年11月に赤ちゃんが生まれました。まわりの人たちはたいへん喜びました。中村さん、巫さんは赤ちゃんから多くの元氣と幸せをもらいました。（表紙写真）



親の反対から ☆国際結婚へ

最初、二人の恋愛・結婚のことは、彼女の両親に猛反対されましたが、中村さんは日本の両親から「ぜひ誠意を見せて」と勇気をもらい、何回も何回も彼女の家を訪ねました。

中村さんは、家事の手伝いをしたり、彼女のご家族と過ごす時間を作ったりしました。そしてついに、彼女の両親は中村さんの優しさに感動し、二人の結婚を認めました。

2011年に中国で結婚式をあげました。二人の両親は言葉が通じなかったのですが、みんな一生懸命笑顔で交流し、二人の母親はその間ずっと手を取り合っていました。



取材感想

巫さんは夫のご両親から家族の一員としていつも温かく見守ってくれることで、今の幸せがあるのだと感謝しています。また、二人の恋物語から、恋愛や結婚はどこの国の人であるかは関係なく、お互い、やさしい思いやりがあれば、幸せや安らぎを人に与えるものだと思います。みなさんもいつも相手に対する思いやりを忘れないように！中村さん・巫さん・赤ちゃん、ありがとうございました！

皆さん、国際結婚の恋物語を通じて、国際理解と平和を深め、だれでも暮らしやすい社会になるように協力しましょう！



国際結婚を祝福・応援しましょう

国際結婚が急増

グローバル化する現代社会では、仕事や留学の関係で海外の人々との出会いは当たり前になってきています。そんな中、二人が愛をはぐくみ、国際結婚に至ることが急増しています。

国際結婚には勇気がいるよ！

例1. 彦根市に在住しているAさん（日本人男性・70代）は若い時にアメリカへ留学し、その時に外国の女性と恋愛しましたが、家族の猛反対でその人と結婚できませんでした。数年前、娘がオーストラリアの男性と付き合いはじめました。最初、Aさんも反対しましたが、笑顔があふれる娘を見ると、国が違う人であっても、その人と幸せになってくれれば良いと思い結婚を認めました。

オーストラリアでの結婚式で、Aさんは喜んで堪能な英語でスピーチをしました。今では、Aさんもカンガルーが自然に飛びまわっている娘の家に行き、孫と遊ぶことなど楽しみが増えました。



国際結婚には勇気がいります。
まわりの人たちは
温かい気持ちで二人を見守り
応援しましょう！

国際結婚の人々を支えましょう！

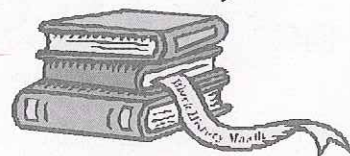
国際結婚は、親族の反対や自分の不安など、なかなか勇気がないとできません。周りに国際結婚の人がいませんか？温かい気持ちで支えましょう！

- ❁ 二人の気持ちをよく理解し、祝福しましょう！
- ❁ 二人の恋物語を聞いて、勇気をもらいましょう！
- ❁ 二人の悩みを聞いて、相談に乗ってあげましょう！

幸せの種は
歴史に
ある…♪

人生に悩んだら…

「日本史」に聞こう



講師 博多の歴女

しらこま ひとみ
白駒 妃登美 さん

実行委員によるオープニング

悩める家事男

～私がやると迷惑ですか？～



2015.3.8 sun.

13:20開演(13:00~受付)
ひこね市文化プラザ メッセホール

◆手話通訳あり

◆託児有り 0歳から就学前 3月2日(月)までに要予約 (託児料 無料)

その他のウィズ開催予定講座

- プロに学ぶ料理教室「プロが教える 鉄板焼きの極意」 3月2日(月) 10:00~12:00
- ウィズ法律講座
「知っておきたい相続の基礎知識~残された人が困らないために~」 3月7日(土) 10:00~12:00
- 共催事業「粋イキ講座」 2月26日(木) 9:30~11:30、3月12日(木) 9:30~11:30

問合せ先 彦根市男女共同参画センター「ウィズ」 TEL&FAX 0749-24-3529